

# 日進市健闘の走り

# 市の部第18位



第11回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（愛知駅伝）が12月3日、愛・地球博記念公園の9区間、28・7キロの周回コースで開かれ、日進市は過去最高タイム1時間37分46秒で、市の部38チーム中18位と昨年の22位を上回り、大健闘しました。

序盤21位でたすきを受け取った2区の森木優摩選手（中部大第一高3年）が5人抜き、3区の宮下泰選手（トヨタ自動車）が2人抜きの走りでチームを勢い付け、一時14位に浮上。中盤で順位を落としましたが、各選手が粘りの走りで盛り返し、アンカーの鹿居二郎選手（亜細亜

大1年）が稲沢・尾張旭を抜く快走を見せ、18位でゴールしました。

レース後のミーティングで佐藤正明監督（73）は「各選手が目標設定を上回るがんばりが過去最高タイムの結果を出した。ご家族や皆さんの力添えに感謝します」と振り返りました。

出場選手、控え選手、コーチ陣が一人ずつコメントし、「応援の声が背中を押してくれた」とする一方、「まだまだ満足できない」「来年はもっと思い切って走りたい」「10位以内に入れるチーム作りを」などと、次回への飛躍を誓いました。（広）

## 防犯 最前線

### 少数精鋭で 児童を見守る

#### 第7話 アクティブ藤塚

12月7日の午後、おりど病院前の歩道で6人のパトロールメンバーが南小の下校児童をいつもどおり出迎える。

「お帰り。学校楽しかった?」「おじさん、バイバイ。久しぶりだったね」。やさしく声を掛けたり、ドライバークラクションで交通整理をしたり。ほのぼのとした光景だ。

アクティブ藤塚は2001年に藤塚地区の住民同士の親睦目的で創設した。12月で15周年を迎え、登録者数は120人超。集会所を拠点に月1回の定例会を開き、ごみ拾いやカラオケ、マージャン、ちぎり絵など、思い思いに奉仕活動や趣味を楽しんでいる。この春から子連れで参加できるカフェも始まった。下校時のパトロールは活動の一つで、地域の児童を犯罪から守ろうと10年以上続いている。

少数だが通学路の5コースを回り、集団の最後尾から目を配る。代表の大原里美さん（76）

は「初めの頃は子どもたちは『どこまで付いて来るの?』と不思議そうだったが、一緒に歩くとうちに安心感を覚えてくれた」と話す。

活動当初26人いたメンバーは、高齢化とともに減ってきたが、「初志貫徹」「継続は力なり」をモットーに励んでいる。女性メンバーは「子どもたちと花の話で盛り上がり、草笛を吹けば気持ち安らぐ」「新鮮な感性に触れるとパワーが湧く」などと話し、心を通わせている。

大原さんらはランドセル姿に目を細める。「この子どもたちは孫のような存在。子どもたちにとって顔なじみが増えることは何よりも一番の安心安全じゃないかな」

活動の問い合わせは、大原さん（0561・74・0623）へ。（広）



下校児童を見守るメンバーら＝折戸町で